

翻訳にあたってのヒント

その 96

● 「TPP」は日本にとって得策か？

この「TPP」とは「Trans-Pacific Partnership (TPP) agreement、Trans-Pacific Partnership free trade agreement、Trans-Pacific Partnership trade accord、Trans-Pacific Strategic Economic Partnership Agreement」などの英語を和訳した「環太平洋経済連携協定」の通称である。

連日、新聞・TVをはじめとするマスコミは、「これに参加しないと他国に出遅れる」「今、決めなければ手遅れになる」といった類の論調で、TPPに参加するよう国民をあおっているが果たしてそうだろうか。

以下に、この協定の内容を「中野剛志先生がよくわかる TPP 解説—日本は TPP で輸出を拡大できっこない！」：
http://www.youtube.com/watch?v=RlyluxDfjMo&feature=player_embedded」を基にわかりやすくまとめたものを記載しておく。

GDP の比率で言うと、参加予定国 10 カ国のうち、アメリカが 67%、日本が 24%（日米だけで 91%＝事実上の日米自由貿易協定だ＝これに加わらないと世界の孤児になるというのは嘘話！＝アメリカは TPP を利用して日本への輸出拡大を狙っているが、失業率が 9.8% のアメリカに日本は輸出できっこない）、オーストラリアが 5%、残り 7 カ国が 4%だ。内需（日本が輸出できそうな国）の比率でいくと、アメリカが 73%、日本が 23%、オーストラリアが 3.7%、残り 7 カ国（シンガポール、ブルネイ、マレーシア、ベトナム、ニュージーランド、チリ、ペルー＝すべて外需依存国でどこも日本と利害が一致しない）が 0.1%である。韓国は TPP に加わると不利になるから、二国間の自由貿易協定（FTA）を選んでいる。中国は人民元為替コントロール問題があるので入らない。米国で販売される自動車の 66%は現地生産（本田の場合 8 割が現地生産だ！）。アメリカの狙いは関税撤廃ではなくドル安による誘導。そしてドル安で強化された農産品が関税の防波堤を失った日本を襲うのだ。という訳で、どう考えたって、日本が TPP で輸出を拡大することはできない。「開国か鎖国か、平成の開国」だというのが、幕末明治の開国は、独立と関税自主権回復のための戦いであった。日本はただでさえデフレなのに、自由貿易によりさらにデフレが激しくなり、米国のデフレが輸入されることになる。よって日本のデフレがもっとひどくなるのである。日本は鎖国なんかしていない。平均関税率は世界平均からみて低い方であり、農業に限定した平均関税率だって低い方である。日本の関税率は平均で EU よりも低い。「製造業が得、農業は損」と言われているが、製造業が TPP に参加して輸出を増やすことはできない。

● 【日本刀の如き】 現役官僚 中野剛志 【経済論客＝京都大学助教授】 前編 TPP が 2 分でわかる : <http://www.youtube.com/watch?v=klGTVNJrObw>

▼ TPP とは? = 環太平洋経済連携協定 (TPP) the Trans-Pacific Partnership (TPP) agreement :

環太平洋間での経済協定。加盟国間の経済制度。即ち、サービス、人の移動、基準認証などにおける整合性を図り、貿易関税については「例外品目を認めない形の関税撤廃」をめざしている。中野氏は、TPP は日本にとってまったく不利益であると主張。肯定派に真っ向から反論する。

● 中野剛志先生がよくわかる TPP 解説—日本は TPP で輸出を拡大できっこない! : <http://www.youtube.com/watch?v=nRmNJpUj5sI>

- 2010 年 12 月 21 日 - 民主党の進める TPP 参加で日本がどうなるかについて分かりやすく説明してあります。これを見れば TPP がどれだけ恐ろしいか分かります。ちなみに自民党は次の統一地方選挙のマニフェストで TPP 参加反対を表明しました。

▲ 環太平洋経済連携協定 (TPP) the Trans-Pacific Partnership (TPP) agreement :

Prime Minister Naoto Kan has been a vocal advocate of giving consideration to joining the negotiations. Accordingly, the government needs to spell out its proactive stance on the TPP. (そうでしょうか?)

However, the Agriculture, Forestry and Fisheries Ministry, agricultural organizations and many DPJ members oppose the TPP. This has complicated the government's efforts to draw up the policy. (そりゃそうだ!)

▲ 環太平洋経済連携協定 (TPP) the TPP agreement、the TPP :

If Japan does not join the TPP, this nation will be shut out of an international framework that will be crucial for its economic growth. Furthermore, Japan would not have any say in deciding the rules concerning trade and investment for the Asia-Pacific region. (その根拠は?)

This is precisely why we think Japan should quickly join the TPP negotiations and get involved in working out plans and rules for trade liberalization. (はっ?)

▲ the Trans-Pacific Partnership trade accord 環太平洋経済連携協定 (TPP) :

Prime Minister Yoshihiko Noda should swiftly decide that Japan will participate in talks on the Trans-Pacific Partnership trade accord. (その意図は売国?あるいは何でしょうか?)

● 藤 井 巖 喜 氏 は TPP に 大 反 対 :

http://www.youtube.com/watch?v=L1M9GXxyF4&feature=player_embedded

【藤井巖喜】 TPP 危機の深層と国益防衛—菅・前原の利己的売国外交 [H23/1/23] :

TPP に私は大反対である。一言でいえば、TPP 加盟は日本の国益に反するからである。少々詳しく言えば、第一に、日本の製造業の輸出促進には全く役に立たない（期待に反して）。第二に、日本の農林業を更に荒廃する事は目に見えている。（花粉症ももっと酷くなるw）第三に、加盟国間では人的移動が大幅に自由化されるので、知的労働者（医師等）を含む移民労働者一般の日本に対する流入が日本人の雇用を奪い、社会的問題を引き起こす事は目に見えている。TPP 交渉中の国家が 9 カ国と言っても、最大の相手はアメリカである。TPP の名に隠れて日米市場を例外なく完全に経済統合しようというのがアメリカ側の隠された意図であろう。日米間では製造業の貿易では既に自由化が進んでおり、TPP を締結しても、日本からアメリカへの輸出は増大しない。アメリカ以外の TPP 交渉国は皆、小国ばかりで、日本からこれらの国への輸出が急増する可能性も全くない。既に貿易取引をしている国々ばかりである。アメリカとの交渉でいえば、FTA（自由貿易協定）の締結に向けてジックリと国益を踏まえた交渉を続けていけばよい。FTA では、例外措置等も許されるのである。菅首相は突如、極端な対米依存を始めている。鳩山前首相が親中反米路線を取り、東アジア共同体推進等に走り、更に沖縄の米軍基地問題を散々に悪化させてしまった事への反動であろう。しかし、アメリカからの圧力で闇雲に TPP を推進する事は、日本の製造業にも農業にも社会全体の安全の為に全くなならない。「開国か、鎖国か」というのは全く誤った問題提起である。日本は貿易国家として既に相当の開国政策を取って来た。現状維持でも鎖国をしているとは、とても言える状況ではない。日本の国益を増進する為にどの部分を開国し、どの部分を鎖国して日本の国民の安全を守らなければいけないかを具体的に個々の産業分野ごとに厳密に考えていかなければならない。既に WTO 主導による貿易自由化一辺倒の流れは挫折しており、貿易の自由化が常に国益の増進に結び付くという 1980 年代までの過去の法則は最早、存在しない。ここにきて前原外相が対北朝鮮交渉で怪しい動きを見せている。又、アメリカ・サイドでも、菅首相や前原外相をおだてて TPP を推進させようというような戦術的な動きがみられる。ワシントンの日本専門家たちが次期首相候補としての前原外相に興味を示す事が多くなってきている。これは明らかに前原氏を利用して、元来、反米親中の民主党政権に揺さぶりをかけようという動きであろう。前原外相の側も、こういったアメリカの底意が分かっているのか、妙に最近、はしやぎ過ぎの体である。前原外相は、北朝鮮との個人的なパイプがあるとアメリカ側にも明言しているようである。日朝関係は、小泉首相の訪朝直前のような妖しげな雰囲気となって来た。前原氏以外にも、拉致問題を一举に解決しようなどという妄想に踊らされて動いている輩（政界ブローカー）が暗躍しているようだ。北朝鮮は前原外相のような単純な頭脳の持ち主が相手に出来るような存在ではない。余計な火遊びは事態を益々悪化させるだけである。（藤井巖喜公式ブログ <http://www.gemki-fujii.com/blog>）

● 【 TPP 】 「平成の開国」の前に「日本再生」 [桜 H23/1/6] :
<http://www.youtube.com/watch?v=C0Iy0w-nsHM&playnext=1&list=PL05246EA24AAC569D>

- 2011年01月05日 - 昨日もお伝えした TPP 参加に対する懸念ですが、再度日本が守るべき国益と、「開国」の前に備えるべき事について注意を喚起しておきます。 ◆チャンネル桜公式 HP <http://www.ch-sakura.jp/>

※ 売国奴どもは何かと言うとバカの三つ覚えで「黒船」、「開国」、挙句の果ては「改革」を口にする。こいつらは国を売ることにかけては維新の豪傑気取りでまさしく「勇者」だ。

※ TPP は製造業の輸出にプラスになりません。なおかつ農産物の洪水的輸入になる。日本は関税自主権を自ら手放すのか？

● 【 TPP 問題 】 平成の開国の行き着く先は？ [桜 H23/1/20] :
<http://www.youtube.com/watch?v=zhvCdtuqPLQ>

- 2011年01月19日 - 政界、経済界、マスコミの大部分が賛意を表している「TPP 参加」。はたして本当に国益にかなう物なのか？朝日新聞に掲載された賛否両論の意見について御紹介すると共に、郵政民営化に反対を続けてきた亀井静香氏の発言や、TPP 批判回避を考慮した「日米 EPA」優先の施政方針演説案などについてお伝えします。 ◆チャンネル桜公式 HP <http://www.ch-sakura.jp/>

※ 菅直人は本気で日本潰す気だな。保険とか、弁護士とか、たくさん日本に来てどうする？なんでもかんでも訴訟の社会か？まだ日本からむしり取りたいか。十分開国してるでしょ？日本の政治家は日本国を護るために働けよ。財界マスコミには日本人のために働くヤツいないんだから。政治家もダメか。

※ 「TPP は中国に対抗して日米同盟を守るためだ」というのが産経系の議論。尖閣や基地ではそれがうまくいった。中国ロシア朝鮮への恐怖にとらわれた国民はこぞって米国に頼った。「基地反対で鳩山が妨害するから悪い、もっと米国に従順にしていれば、中国恐怖から解き放たれるんだ」というタイプの、戦後ずっと続いてきたロジックと同じ、どこまで対抗できるのか。米国債も中国が持ってるし、日本は米国に対して切れるカードが全くない。

※ TPP は開国ではなく亡国。安い輸入品を入れてデフレを加速させて どうすんの？値下げ競争で利益が上がらないのに人件費削減できつい 労働させられる羽目になるよ。

※ 与謝野の入閣後財界・すべてのメディア産経までもが、菅政権擁護の論調に変わってきました。これは大変なことです。

● 【 TPP と移民 】 政府よ、経団連よ、日本を売るな！ [桜 H22/11/11] :
<http://www.youtube.com/watch?v=tEZsq52nCnk>

- 2010年11月11日 - 今般の尖閣事件とその後の日中関係に関し、日本経団連は商売至上主義を掲げ、中国に対する譲歩と移民の受け入れを憚ることなく主張している。日本の国柄に思いを致さない経団連を糾弾するとともに、TPPへの参加に関しても、農業政策の抜本的な改革が前提条件になることを申し上げておきます。 ◆チャンネル桜公式 HP <http://www.ch-sakura.jp/>

経団連の米〇会長は売国奴！ 頭からっぽの総〇大臣と同類！ 民主党の戸別所得補償制度は愚策。

● TPP推進の経団連の米倉弘昌会長（デューク大学院卒）は、住友化学の会長。そして、住友化学は多国籍バイオ化学メーカーモンサント社（米国本拠地）と業務提携をしている。： <http://wildhs.hamazo.tv/e2863055.html>

▲ GM 種子が「核」暴走したら誰にも止められない： <http://kaleido11.blog111.fc2.com/blog-entry-603.html>

▲ 「日本の畑でもモンサントの自殺種子で栽培させろ」： <http://kaleido11.blog111.fc2.com/blog-entry-594.html>

▲ モンサント社の要請に対するパブリック・コメント： <http://kaleido11.blog111.fc2.com/blog-entry-600.html>

以下は、「デューク大学」がどんな大学であるかがわかる記事。

・ 黒人リンチ組織 K K K の正体： <http://blog.goo.ne.jp/fugimi63119/e/cbd4209289a75a063e6c0bfbb31e51ed>（元記事：<http://alternativereport1.seesaa.net/article/89858620.html>）

・ CIA の人間ロボット化計画 2009年1月： <http://blog.goo.ne.jp/fugimi63119/e/12be90174de8bef481c3d0578b4bc064>

・ オバマ新大統領のブレーンが推進する戦闘用クローン人間兵士「製造」 2009年1月信： <http://blog.goo.ne.jp/fugimi63119/e/06a465ed71c8ffdd00b7e48220037365>

・ 自由貿易はナチス思想 2008年6月： <http://blog.goo.ne.jp/fugimi63119/e/b7494861a91155c32de202f7e5d625ab>

これでも TPP 賛成という方からは、なんか変なうさ〜んくさい臭いがしますなア。

これにて第 96 回目終了。

付録

